

亜くろいし 市議会だより



vol. 22

平成30年9月1日発行



7月15日、第55回羽黒神社奉納浅瀬石地区子ども会相撲大会が同神社境内で開かれ、浅瀬石小学校の男子児童が土俵上で白熱した取り組みを繰り広げました。同日は女子児童による第26回浅瀬石地区子ども会腕相撲大会も同小で開かれました。

第2回定例会議案審議

可決された議案の中から

主なものを紹介します。

○平成30年第2回定例会

会期14日間

7月4日～7月17日

○第2回定例会で可決・承認・

報告・同意した議案等

市長提出議案25件中・・・25件

議員提出議案1件中・・・1件

以上の中から主なものをお知らせします。なお、全ての議案名とその結果は、市議会ホームページでござらんください。

黒石公民館（多目的ホール）
の改修工事に着手します。



市庁舎の耐震対策による使用制限に伴い、税申告会場の確保を含め、財政的な目処がついたことから、多目的ホールの改修を行い、再開するための経費として約7千万円が補正予算として追加計上されました。再開後の利活用については、1月から3月までは、税の申告会場として使用し、4月から12月までは、事前申込みによる一般貸出を予定しています。

○平成30年度 黒石市一般会計補正予算

補正予算額

1億587万5千円

補正後の予算額

160億9887万5千円

平成29年度決算

（公営企業会計）

が認定されました。



平成29年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計決算については、議員全員をもって構成する決算特別委員会が設置され、委員会において審議の上、全会一致で認定されました。

○平成29年度

黒石市国民健康保険黒石病院事業会計決算

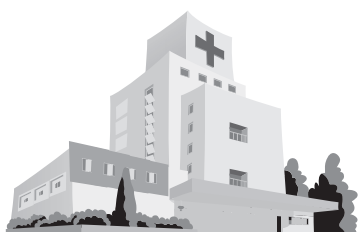
収益的収入及び支出

収入 43億6504万1千円

支出 45億8151万0千円

差引（当年度純損失）

2億1646万9千円



平成29年度黒石市水道事業会計決算
および下水道事業会計決算についても
決算特別委員会において審議され、全
会一致で認定されました。

○平成29年度黒石市水道事業会計決算
収益的収入及び支出

収入	7億5773万7千円
支出	6億7358万8千円
差引（当年度純利益）	8414万9千円

○平成29年度黒石市下水道事業会計決算
収益的収入及び支出

収入	10億8094万4千円
支出	9億6933万2千円
差引（当年度純利益）	1億1161万2千円

市長の給料月額を

引き続き減額します。

○黒石市特別職の職員の給料等に関する
条例の一部を改正する条例制定につ
いて

市長の給料月額を30%減額する条例
が市より提出されました。市では、厳
しい財政事情が続くものと判断し、引
き続き平成31年3月31日まで延長する
ものです。

監査委員の選任について

識見を有する者のうちから選任され
た監査委員の辞職に伴い、黒石市監査
委員の選任について同意しました。

住 所	追子野木三丁目
氏 名	今 田 貴 士
生年月日	昭和25年11月30日

全国市議会議長会表彰

地方自治に貢献した議員として、5
月30日に東京都で開催された全国市議
会議長会第94回定期総会において表彰
状が送られ、7月4日の定例会の開会
日に北山一衛議長から表彰状の伝達が
ありました。

*在職15年表彰



表彰状の伝達を受けた大溝雅昭議員

一般質問

8人が市政を問う

第2回定例会において行われた一般質問の中から1議員につき2項目程度の質問及び答弁の要旨を質問議員が作成し掲載しています。ご不明な点は、議員にお尋ねください。

また議会ホームページでは、会議録の公開を行っております。一般質問の内容はPDFファイルにて御覧いただけます。

携帯電話やスマートフォンで下記QRコードを読み取っていただくと簡単に掲載サイトに接続できます。



三上 廣大 議員
新政会

一問一答方式

問 市民文化会館と多目的ホールの再開へ向けた取り組みについて。

答 市民文化会館再開については、平成28年度に文化会館再開に関して再度、建築工事費、電気工事費及び機械設備工事費について調査・検討した結果、多額の工事費用がかかることから、再開は難しいものと考えております。
多目的ホール再開については現在、調査および実施設計を行っており、12月末の完成を目指しております。

その他の質問

- ①牛乳給食について
- ②当市の婦人会について
- ③スポカルイン黒石について
- ④市長の政治姿勢について



工藤 俊広 議員
自民・公明クラブ

一問一答方式

問 放課後児童健全育成事業における問題点の改善について。

答 待機児童が市内4地区で37名います。解決策として自由来館等に対応していますが、東地区児童センターは、増設を視野に入れながら新しい体制づくりを検討します。

問 消防団車両等の更新や屯所建設等に係る補助金制度について。

答 消防団車両等の更新については5年間の更新計画を作成しておりますが、計画通りに更新できておりません。その現状を踏まえ、消防団と協議し、今後の計画を検討します。
補助金制度は「黒石市消防屯所設置事業交付要綱」等で定められ、工事完了後の確認、合格をもって支給となるものです。



工藤 和子 議員

黒石市民クラブ

一括方式

問 若手女性農業者の組織化を進めるに至った背景と経緯および組織後の活動内容等について。

答 農業の活性化のためには女性農業者の活力とアイデアが必要と考え、各種研修会へ積極的に参加している11人で組織しました。

今後は女性農業者が活躍できる環境づくりの推進を目指します。

問 公共施設における危険箇所への対応について。

答 公共施設での危険箇所について調査の結果、庁舎東・西側の塀や浅瀬石小プール付近、黒石東小体育館裏付近でブロック塀等の危険箇所が確認されました。

危険箇所については速やかに注意喚起の措置をし、撤去または補強の工法等を検討します。



大溝 雅昭 議員

自民・公明クラブ

一問一答方式

問 スポーツ施設の充実について。

答 スポカルイン黒石は築22年、運動公園野球場は築44年、テニスコートは築39年、陸上競技場は築33年、プールは築28年とそれぞれ経過しています。

今後、改修が必要と考えているのはスポカルイン黒石の照明設備、野球場のバックスクリーン設備、平成24年に一部改修したテニスコートの残りの4面と、その他についても計画的に環境整備をしていきます。

問 高齢者地域見守り事業の委託料の使い方について。

答 委託料の使い方は地区協議会にすべて任せています。今後は使い方調査し、各地区に情報を提供します。



高橋美紀子 議員

高 佑 会

一問一答方式

問 小学校統合に際して、通学路の安全等心配されている東小学校前道路について。

答 時間、財政等の問題から、拡張は難しく、地域の方、保護者の方の協力が不可欠であると考えます。

問 10地区の課題と対策について。

答 地区での課題内容が異なり、話し合いや対応策の決定に至るまでに時間を要していることから、地域向上事業を実施しています。

問 各家庭内、公共施設内の自然災害への備えについて事前対策は。

答 防災意識の高さは自主防災組織率から伺えますが、重要と考える「自助」についても出前講座等で更なる防災意識高揚を図ります。



工藤 禎子 議員

日本共産党

一問一答方式

問

市長が掲げた選挙公約の項目について具体的な方策を示せ。

答

① P D C A サイクルの活用については前年度予算から財務会計システム導入し、各事業単位で予算執行状態が把握可能となっており、その成果を平成31年度予算編成に反映させたいと考えます。
 ② 教育問題については、現在進めている小・中連携事業を継続しながら、本市にあった小・中一貫教育の構築を目指していきたいと考えます。
 ③ 黒石温泉郷については誘客促進を地元と協力しながら積極的に関わっていききたいと考えています。

その他の質問

- 黒星病の状況と対策について
- 黒石市情報公開条例について
- 生活保護制度について



大久保朝泰 議員

自民・公明クラブ

一問一答方式

問

公共施設における多目的トイレの設置状況について。

答

黒石市役所駐車場、駅前多目的広場、かぐじ広場など、市内9施設のトイレについては、車いすの方やオストメイトの方も利用できるトイレが設置されています。その他、市が管理する公共施設62施設のうち、24施設に車いすに対応できるトイレが設置されています。今後はより利用しやすい施設になるよう、財政状況も勘案し、整備していきたいと考えています。

問

黒石市名誉市民の周知活動について。

答

市ホームページの「市の紹介」ページで名誉市民の略歴を掲載するなどし、周知していきます。



中田 博文 議員

自民・公明クラブ

一問一答方式

問

市立図書館の新設に係る国の補助金は。

答

中心市街地活性化基本計画の中に組み込みますと国から3分の1が補助対象になります。

問

ロジスティクス戦略推進事業に係る企業及び公共事業の進捗状況は。

答

現在進出を決めている紅屋商事株式会社では平成32年春の操業開始に向け、現地の測量や建築物に関する実施設計について作業を進めています。インフラ整備に関しては、既に測量設計を実施し、関連する市道の拡幅と上下水道管の整備をする予定です。

そのほか数社から問い合わせを頂いている状況であり、進出について今後、各社と調整を図っていきます。

民生福祉常任委員会活動報告

【放課後児童クラブ（りんごクラブ） 現場視察について】

6月5日、民生福祉常任委員会（大溝雅昭委員長）は、西部・東・中部地区「りんごクラブ」の視察を行い、クラブへの登録者数、現状や問題点を伺ってまいりました。

施設の職員からは、施設の部屋が狭く、体調が悪くなった児童が出た際の対応に苦慮している事や、小学校統合後の対応として、不審者、インフルエンザ等の情報提供の方法についての不安など、さまざまな意見をいただきました。

今回の視察を受け、児童と保護者の皆さんがもっと安心して過ごせる「りんごクラブ」となるよう、一般質問等を通して行政に働きかけて行くこととしました。

※平成30年第2回定例会で2名の委員が一般質問において課題を取り上げました。



西部児童館での視察の様子

経済建設常任委員会活動報告

【「りんご黒星病」に対する意見書の提出について】

7月3日、経済建設常任委員会（工藤和行委員長）は、花巻地区の佐々木博光氏園地にて「知事の高品質りんご生産に係る現地激励」に参加後、同園地においてりんごの生育状況等について確認するため、農林課から説明を受けました。

その中で、「りんご黒星病」が津軽地域で広く確認され、現地調査を実施するなど、農林課としても現状を注視しているとのことでした。現在、「りんご黒星病」に対する特効薬がない状態であり、被害の拡大を抑制することしかできない状況であることから、委員会において協議を行い、7月の定例会に対し「りんご黒星病」対策へ特効薬の開発等の支援を求める意見書の提出を行うこととしました。

※7月17日、定例会において全会一致で採択され、農林水産大臣および青森県知事に提出しました。



7月3日の園地視察の様子

議員活動報告書

- 日本共産党 工藤 禎子
- 高 佑 会 高橋美紀子
- 視察先
福島県下郷町
「伝統的建造物群保存地区の
取り組みについて」
秋田県五城目町
「廃校の有効活用について」
- 期 間：平成30年6月25～27日



福島県下郷町大内宿での視察の様子

【重要伝統的建造物群保存地区の取り組みについて(福島県下郷町)】

大内宿は街道宿場としての形態を残す町並みとして、国の選定を受けてから参勤交代や馬子たちで賑わった時のように40余りのお土産屋さん、15軒の食堂、2つの民宿が震災前の平成21年には115万人、現在も80万人の来客を迎えています。

当市も中町こみせ通り周辺の歴史的な町並みを整え、大内宿のネギ蕎麦のような特徴的な食の名物が必要であると考えます。

【廃校の有効活用について(秋田県五城目町)】

平成25年に138年の歴史に幕を閉じた馬場目小学校は、企業のオフィスや町のコミュニティ活動を行う事業者などを支援する場「町地域活性化支援センター(BABAME BASE)」として生まれ変わりました。移住起業家や地元企業が入居し、体験学習やイベントなどが盛んに開催され、地域交流の基点となり続けています。

当市の廃校も、地域と市内外からの企業との融合による活用や活性化を実現したいと考えます。

第13回議会報告会を開催しました



議会報告会の様子 (スポカルイン黒石)

7月27日(金)に開催し、47名(うち黒石、黒石商業両校の高校生27名)の方々にご参加いただきました。議員16人中15人が出席し、北山一衛議長、工藤俊広副議長から3月、7月定例会における審議議案等の説明があり、予算・決算委員長を務めた村上啓二、今大介議員から平成30年度予算、平成29年度公営企業会計(黒石病院、上・下水道)決算の報告を行いました。

その後、意見交換を行い、その中で高校生から「外国人観光客がもっと黒石に来てもらうために、タクシーで市内の自然や文化的な場所をめぐる観光ツアーの整備・充実を図れないか」、「黒石中学校付近に舗装整備されていない歩道があり、通学に困っている」等の意見がありました。また、その他の参加者からは「地元に帰ってくる新卒者へ対し手厚い市の支援を」「黒石の朝市の整備、活性化はできないか」「西十和田トンネルの進捗状況はどうなっているのか」などの質問、意見が出されました。

幅広い世代の方との市政に対する意見交換ができ、大変ありがとうございました。市議会では、今後も市民の皆様に関心を持っていただけるよう努めてまいります。

編集後記

たくさんの方々の御支援によって、今号も無事発行することが出来ました。市民の皆様は、どう評価しているのでしょうか。こんな事も知りたい等、ございましたらご意見お待ちしております。委員一同、わかりやすい紙面作りに取り組んでおりますので、これからもよろしくお願ひします。
工藤 和子

議会だより編集特別委員会

委員 長	工 藤 俊 広
副委員 長	工 藤 和 行
委 員	工 藤 和 子
委 員	高 橋 美 紀 子
委 員	今 大 介
委 員	三 上 廣 大

市議会だより
平成30年9月1日 第22号

発行 黒石市議会
編集 市議会だより
編集特別委員会

住所 黒石市市ノ町11の1
電話 0172-52-2111(代)
FAX 0172-52-6191

ホームページ
http://www.city.kuroishi.aomori.jp/City_Assembly/CA_Menu.html
Eメール
kuro-gikai@city.kuroishi.aomori.jp